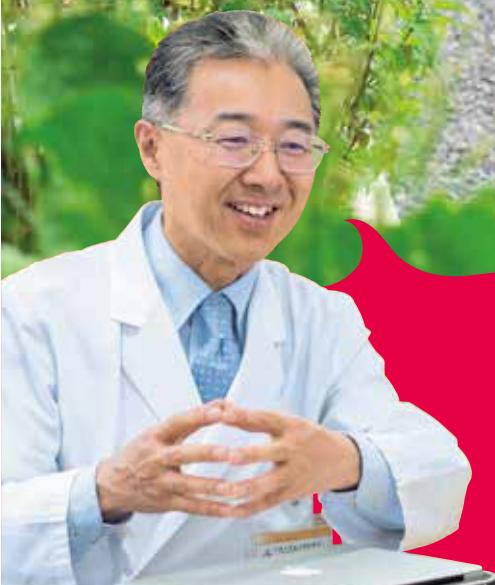




Mira-KURU

[ミラクル]
July 2016
vol.5

自然と調和した
東洋医学専門の診療所



INTERVIEW かつの 勝野 達郎 たつろう 千葉大学柏の葉診療所長

文明の発達とともに、従来にはないさまざまな影響を受けている現代人の心と身体。近年では、西洋医学では解明できない、身体的不調や病気も多く発生しています。古代中国で誕生し、東アジアの諸国でそれぞれに固有の発展を遂げた東洋医学は、人間と自然の調和を基本とする医学。健康を人間の大切なリソースと考える現代では、東洋医学的なアプローチが注目されています。

PROFILE

勝野 達郎

●千葉大学柏の葉診療所長
千葉大学医学部附属病院准教授

長野県生まれ。1990年千葉大学医学部卒業(漢方は秋葉哲生先生に師事)、千葉大学医学部附属病院勤務。主として、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クロhn病)などの消化管疾患の診療と研究に従事。2014年、千葉大学柏の葉診療所長、千葉大学環境健康フィールド科学センター准教授。2015年、千葉大学医学部附属病院准教授。診療所での医療業務の傍ら、明治時代の西欧化によって失われた、日本固有の東洋医学の伝統技術と知識を復活させるために、江戸時代の文献を研究している。



一般公開もしている薬草園(平日の9時から17時まで)。自然と身体、生命とのつながりを肌で感じることができる

「病気にならない街づくり」の拠点を目指して

国立大学で唯一、漢方と鍼灸治療を自由診療で行う診療所。

患者さんの幅広い病態に高品質の生薬で対応

東洋医学とは、東洋起源の伝統医学です。中国最古の医学書「黄帝内經(こうていだいけい)」から発展し、漢方医学、鍼灸医学、養生法などが確立されました。東洋医学では「人間は自然の一部であり、身体のしくみも自然界の動きとつながっている」と考えます。

西洋科学の裏づけによる理論に基づいて治療や対処療法を行う西洋医学とは、根本的に考え方やアプローチが異なります。

また、東洋医学は、「医食同源」を掲げる通り、食と薬にも連続性があると捉えています。

千葉大学柏の葉キャンパスは、「環境・健康・食」をキーワードに、学際的な教育研究に取り組んでいます。そのキャンパス内に、2004年、設立されたのが「柏の葉診療所」。東葛地域やつくばエクスプレス沿線にお住まいの方を中心、東洋医学に基づく医療を提供してきました。

10年間、保険診療で運営していた漢方部門は、2014年10月に国立大学初の自由診療による漢方診療所として再スタートを切りました。

自由診療に体制を変えた理由は、①保険診療では限界がある、高品質な生薬の提供と、②患者さんの幅広い病態や体調不良への対応、そしてまだ保険適応になっていない生薬も提供できるようにするためにです。自由度の高い診療によって、患者さん一人ひとりに合った、オーダーメイドの治療を目指しています。

当診療所の特徴は、漢方治療と鍼灸治療

の両面からアプローチできる体制にあります。我慢できないほどのつらい症状には、即効性のある鍼灸で対応。その後漢方を併用し、徐々に体質を改善していきます。

西洋医学と東洋医学の限界を知り、最適な医療を

当診療所を受診される患者さんの症状は、多岐に亘ります。

- 生活に支障を来す不快な症状
(頭痛、肩こり、冷え症、ほてり等)
- ライフサイクルと関連した症状
(女性および男性の更年期症状、夜間頻尿等)
- メンタルヘルスやストレス管理
(不眠、不安感、自律神経失調症等)
- 運動器疾患(腰痛、膝痛、神経痛、しびれ等)
- 産科婦人科の疾患
(月経不順、月経前症候群、不妊症等)

生命に関わるほどの大病ではないけれども、つらい痛みや不快な症状が続く。西洋医学の病院では、数値的に問題がないと診断された。そんな症状の患者さんが多く来院されます。

その他、アレルギーやアトピー、虚弱体質の改善、潰瘍性大腸炎などの難治性疾患やがんの補助治療(副作用軽減、体力維持)を求める方も受診されています。

私は消化器を専門とする内科医であり、漢方医でもあります。東洋医学と西洋医学、両方のアプローチ、そして限界も理解しています。大切なことは、その限界を超えることなく、患者さんにとって最適な治療を模索し実践することだと思っています。

オーダーメイド
治療に用いられる
良質な生薬



高品質な生薬を使ったオーダーメイド治療

「さまざまな病院、いろんな科で診てもらったけれど改善しない」という患者さんが、最終的に当診療所にいらして、症状が改善された例は少なくありません。

西洋医学では、コレステロール値や血圧など、身体機能の正常値が定められ、それに照らし合わせて病態を診断します。

一方、東洋医学には、そういう客観的な数値はありません。しかし、「その人自身が苦痛がなく、快適に生活できる状態」を健康と捉え、その状態に心身のバランスを調整することを目指します。

客観的なデータを指標にしていない分、長い間、東洋医学は感覚的で神秘的な印象がもたれていました。しかし、近年の医療機器などの発達によって、東洋医学の治療の効果を数値で検証できるようになり、世界中で多くの論文が発表され、その真価があらためて評価されるようになったのです。

当診療所では、大学内の組織として、研究活動や人材育成も積極的に行っています。その成果を、より多くの患者さんに医療として提供することも私たちの使命。「病気にならない街づくり」の拠点となれるように、スタッフ一同、尽力しています。

鍼灸
SIN KYU

世界で注目されている鍼灸。 セルフケアとしてもおすすめです

初めての方も
ぜひ一度ご相談
ください！



千葉大学柏の葉鍼灸院 院長 松本 毅

60歳を過ぎて腰痛や膝痛になり、お医者さんに「加齢のせいですよ」と言われて当惑したという患者さんは少なくありません。

平均寿命が延伸する中、「あと20年以上もこの痛みが続くのか」と患者さんは途方に暮れてしまうのです。生命に関わる病気ではないけれど、この痛みをどうにかできないか…



施術しながら、患者さんの不安やお悩みを聞くのも鍼灸師の大事な仕事

と悩んだ末に、安全・安心で即効性のある鍼灸を選ばれる患者さんが増えています。

世界的にも鍼灸は注目されていて、現在では50か国以上が鍼灸治療を導入。またWHOやさまざまな機関で研究が行われています。たとえば逆子の妊娠さんの足の小指にお灸をすると、高い確率で元に戻る。そのメカニズムは分かっていませんが、症例数を増やして効果の検証をするなど、同じような試みが、世界各国で行われているのです。

柏の葉診療所は大学内の治療機関なので、論文など、最先端の情報を提供することが可能。また、同時に古典的な伝統医学も提供することができ、患者さん側のメリットは大きいと思います。

当鍼灸院では、関東では珍しい「子どもの鍼」も行っています。夜泣きや疳の虫、おねしょなどに効果があります。近隣には、核家族世帯が多いため、子育ての悩みを抱えたお母さんたちも多く来院されます。

最近では、東洋医学の未病や予防医療といった視点から、「養生法」というセルフケアの推奨も行っています。正しい知識を得たうえで、お灸やツボマッサージを通じて、自分の身体にあらためて出会ってほしい。皆さんの身体や病気に対する意識を変えることも、東洋医学を実践する私たちの重要な仕事のひとつだと思っています。



私たちが
最適なアドバイスを
いたします！

千葉大学柏の葉診療所 角野 めぐみ
特任助教・薬剤師

生薬を煎じる間だけでも、 自分の健康をいたわってほしい

牛
YAKU
藥
SHO

当診療所では、約150種類の生薬を日常的に扱っています。漢方では、陳皮(みかんの皮)やしょうが、なつめなど、食べられるものから、作用の強い薬のような生薬を組み合わせてお薬を調合します。

診察の結果、作られた処方箋をもとに、生薬を組み合わせて調剤し、1日分ごとに機械で分包しています。

服薬指導も私たち薬剤師の大切な仕事。薬の内容を患者さんにご理解いただき、正しい煎じ方を指導しています。ライフスタイルの関係で煎じることができない場合は、粉末や、煎液のレトルトパックを利用させていただいている。

漢方薬の煎じ方は、経験則によるものが多く、科学的に解明されていないことが多いです。私たちは、漢方薬の煎じ方による効果の検証を科学的に研究しています。それによって、より効果的な煎じ方の提案や、生薬資源の有効活用につなげています。

現代人は忙しく、自分の健康に目を向ける時間が少ない

傾向にあります。健康を犠牲にして、仕事をしている人も多いようです。漢方を煎じることは煩雑だと思われがちですが、せめてその時間だけでも自分の健康と向かい合っていただければ……と思っています。



漢方薬の伝統的な知見や技術を、科学的に検証しています



やさしい笑顔が印象的な診療所のスタッフの皆さん

受診のご希望、お問い合わせは下記までお願いいたします

●千葉大学柏の葉診療所(漢方部門)

TEL.04-7137-8471

(火・水・金 9:00~12:00, 13:30~17:00/土 9:00~14:00)
<http://www.fc.chiba-u.jp/hospital/>

●千葉大学柏の葉鍼灸院

TEL.04-7137-8483

(月~金 8:30~12:15, 13:15~17:15/土 8:30~14:30)
<http://www.fc.chiba-u.jp/hari/>

〈場所〉〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1
つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅 徒歩5分



ntroduction



良質な生薬の安定供給を目指す国産生薬の生産推進プロジェクト!

千葉大学柏の葉キャンパスには、350種類以上の薬用植物を栽培している薬草園があります。千葉大学環境健康フィールド科学センターの渡辺均准教授が中心となり、2015年にリニューアルしました。薬草同士の交配を避け、見学される方にもわかりやすいよう、薬草は種類ごとに区分けされ、植物名や効能などが書かれたプレートが付けられています。

現在渡辺均准教授らは、国産生薬の生産推進プロジェクトに取り組んでいます。



保険診療の現場では、生薬の仕入れ値の高騰はなかなか保険



生薬の品質は効果効能に比例

薬価に反映されません。調剤薬局や漢方医の先生方の努力によって継続されていますが、このままではさらに生薬の輸入原価が上がり、生薬の質が落ちることが懸念されています。「そこで渡辺均准教授は、国内の農業生産者の方々とネットワークを作り、国産生薬の生産体制を現在構築しつつあります。柏の葉診療所の医師、薬剤師、鍼灸師もここに連携し、国産生薬の利用を始めています」

さらに、環境健康フィールド科学センター内に薬用植物を含む機能性植物の優良種苗の開発と苗供給を目的とした「健康機能性植物種苗開発センター」を立ち上げる構想も進めています。本プロジェクトでは、国産生薬の生産、産業化に興味をもつ企業、組織を募集しています。

市民公開講座を定期開催

千葉大学柏の葉キャンパスでは、市民公開講座「柏の葉・東洋医学健康セミナー」を定期的に開催しています。自然の恵みを健康に役立てる東洋医学の紹介、煎じ薬の科学、だれでもできる養生法など、大学ならではの最新知識や研究成果を盛り込んだ、充実した内容が人気です。患者さんだけでなく、健康への意識が高い方々もたくさん受講。定員100名の予約はすぐに埋まるそうです。



大人気の医食同源メニュー

千葉大学和漢診療科の並木隆雄診療教授は、岡部栄シェフのコラボによる「医食同源メニュー」を開発。千葉大学病院ひがし棟11階「レストラン・ヴァンセーヌ」でそのメニューを提供しています。それらをまとめたレシピ本「千葉大学病院の薬膳ごはん」(株式会社マイナビ)も人気で、多くのメディアでとりあげられています。漢方薬に使われる本格食材を使ったメニューの数々は「くせがなくて食べやすく、さっぱりしていて美味しい!」と、患者さんやご家族、地域の人々の間で評判です。



[ミラクル]
Mira-Kuru
とは?

『Mira-Kuru(ミラクル)』は、千葉大学と京葉銀行がつくる産学連携の情報誌です。

千葉大学の研究者や学生が取り組んでいるさまざまな研究を、

農業

環境

健康

福祉

科学

という5つのテーマに分けて、わかりやすく皆さまにご紹介していきます。

平成24年7月、京葉銀行は70周年記念事業として、地域経済の活性化を図り、活力ある経済社会の形成及び学術・文化の振興を目指して、千葉大学と包括的連携協力に関する協定を締結しました。双方が有する人的・知的財産を融合し、地域の皆さまへのさまざまな付加価値の提供、地域社会・経済、産業の発展と活性化に積極的に取り組んでいます。本誌もその一環として創刊されました。

産学連携・共同研究についてのお問い合わせ

株式会社 京葉銀行

成長戦略推進部 コンサルティング営業グループ 受付時間 月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日および12月31日～1月3日は除きます)

発行:京葉銀行 / 編集監修:千葉大学 鈴木弘樹 (工学研究科 建築・都市科学専攻 准教授)

0120-551-210

携帯電話からは TEL.043-222-2850 (通話料有料)